

長年の功績に深く敬意を表します

平成27年度大館市功労者

大館市功労者表彰は、市勢の発展、社会福祉増進、産業の振興、保健衛生の向上など、広く市民の模範となる功労があった個人や団体に対して行われます。毎年、市の記念日である4月1日に表彰式が行われ、今年度は次の方々が表彰されました。



荒川 邦隆氏
(谷地の平東・70歳)

昭和60年から平成19年までの5期22年間、田代町議会議員、大館市議会議員として地方自治の発展に尽力されました。この間、平成5年からの田代町議会建設常任委員長、平成9年からの田代町議会副議長、平成13年からの田代町議会議長など、数々の要職を歴任し、市町村合併後の平成17年には議会選出監査委員に選出されるなど、町政、市政の発展に貢献されました。

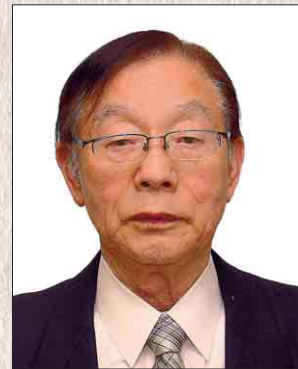
また、現在は大館市特別職報酬等審議会委員長を務めるなど、市政運営の推進に尽力されています。



佐々木 金己氏
(赤石沢・82歳)

昭和46年から昭和50年までと昭和61年から現在までの通算33年間の長きにわたり、行政協力員として、地域と行政との間の連絡、調整に努め、市政の円滑な運営に尽力されています。また、赤石沢町内会長として、地域コミュニティの形成に尽くすなど、地域のリーダーとして精力的に活動し、住民から大きな信頼を集めています。

更に、昭和63年から現在までの27年間で、赤石沢納税貯蓄組合長として、組合員の納税意識の高揚と市税収納率向上に貢献されています。



佐々木 照吉氏
(水門町・80歳)

昭和54年から現在までの36年間にわたり、大館市子ども会育成連合会会長として、市内子ども会活動を支援続けるとともに、子ども会指導者の育成にも尽力されています。

また、昭和55年から平成26年までの34年間、大館市青少年問題協議会委員として、青少年の指導、育成、保護に関する施策の審議に関わり、大館市の青少年健全育成に努められました。

更に、幅広い分野にわたる社会教育活動に携わり、本市における青少年教育へ多大な貢献をされています。



嶋田 久成氏
(大葛・77歳)

長きにわたる比内町消防団員や公民館活動の経験を基に、地域における災害などへの組織的な対応や、地域存続のための活動を目的とした大葛の将来を考える会「の立ち上げ、運営に尽力されました。特に、平成18年から同会会長を8年間務め、地域コミュニティの維持と豊かな地域づくりを目的し、大葛地域の振興に大きく貢献されました。

更に、昭和60年から現在までの29年間、保護司を務めており、更生保護の功績が認められ平成25年には藍綬褒章を受章されています。



武石 弘氏
(中神明町・85歳)

昭和42年から現在までの48年間の長きにわたり、大館市ラジオ体操指導員として、ラジオ体操の普及に尽力し、市民の健康増進、青少年の健全育成に貢献されています。

また、平成4年から平成16年までの12年間、大館市民生委員児童委員として、低所得者の自立更生援護や、高齢者障害者、ひとり親家庭の生活相談などに積極的に取り組み、市の社会福祉増進に貢献されました。

更に、平成9年から17年間、行政協力員として、市政の円滑な運営に尽力されました。